

令和4年度 軽井沢高等学校 学校評議員による学校関係者評価

長野県軽井沢高等学校

学校教育目標

日本国憲法・教育基本法の精神にもとづき、教養を高め、知性を磨き、豊かな情操と創造性に富む人間形成をはかるとともに、広い視野と正しい判断のもとに行動する有為な社会形成者の育成をめざす。

中・長期的重点目標

- (1) 国際親善文化観光都市である、軽井沢ならではの地の利を活かした学びを推進し、地域に信頼され、地域に貢献できる学校を目指す。
- (2) 生徒の安心安全な学校生活を保障すると共に、主体的な活動を推進し、発信力・コミュニケーション力・協働性を有する人材を育成する。

令和4年度重点目標

- (1) 生徒と共に作るよりよい授業に向けた授業研究を推進し、生徒の学習意欲向上および基礎学力の定着を目指す。
- (2) 社会の一員としての責任感を養い、規律を持たせるための粘り強い指導を行う。
- (3) 生徒が深く考え、判断し、行動できるように主体的な活動を推進する。
- (4) 多様な考えを持つ人々と協働できるよう支援する。

対象	評価項目(活動目標)	学校評議員による評価
重点目標	〈中・長期的〉重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・各種会議に積極的に参加し、地域から称賛の声が上がる等地域に貢献している。 ・積極的に地域に出て活動している姿勢が素晴らしい。 ・行事報告を拝見して、よく工夫されていると感じた。 ・コロナ禍の影響も落ち着いてきたので、今後の活動に期待している。ISAK 共々何かご協力できればと思う。 ・軽井沢ならではの地の利を活かしたISAKとの交流等、とても良い。これからも信頼され貢献できる学校を目指していただきたい。
	今年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・就業体験に積極的に参加し、社会の一員として仕事に就き一定の成果を上げている。 ・生徒の主体的な取組が多い。 ・小規模学校ならではの隅々まで行き渡る先生方のご指導が伝わってきた。 ・一定の成果が見られたようですが、さらなる向上・目標に向けて指導又工夫を行っていただきたい。
進路学習指導	生徒の学習意欲向上を目指した授業改善	<ul style="list-style-type: none"> ・課題探究発表会について生徒が主体となり計画等を実施し、また、発表からは各自が真剣に取り組んでいる様子がよく分かり、内容についても充実していて興味深いものだった。成果の発表も必要だが、そこに至るまでの情報収集や人との繋がりなどの経過を映像も入れて記録することで、メディアなどの協力も得ながら校外へも発信していけると軽高の良さがより多くの人に伝わると感じた。 ・探究では幅広い活動、自由な選択の探究にて個人の可能性を引き出せるきっかけがあるといよい。 ・早い段階でオープンキャンパスなどを利用して、大学とは…専門学校とは…を認識し進学に対しての強い意志を持つべきだと思う。【自分は何で勝負するのか?】が見つけられるのが理想である。 ・評価Cの「生徒が自らの目標・評価設定する機会を設けること」とあるが、具体的に機会を設けて、生徒が目標を設定できるような指導をお願いして、来年度は一段階上がれるような取り組みをしていただきたい。
	意識調査を活用した教育活動の実践	
	生徒の成長につながる「総合的な探究の時間」の評価方法の構築	
	生徒の学習課題の分析と個別最適支援	
生徒指導	安心安全な学校生活の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者あての文書配布について、以前からオクレンジャー等の検討をしたと改善策が挙がっているが、教員の負担軽減も踏まえた検討をしてもらいたい。 ・事件に巻き込まれる等、大きな問題は無かったようだが、SNSに絡む問題もあり、一層の指導をお願いしたい。 ・町を歩く生徒の姿が以前と比べてとても落ち着きのある雰囲気になってきている。他に高校生がいないのでどうしても注目されやすいが、特に男子はきちんとした生徒が多いと感じる。 ・大きな問題を未然に防げたなど、予防教育等引き続き徹底して頂き、生徒一人一人がしっかりと認識している事を願う。 ・一定の成果が見られたようで良いと思う。引き続き生徒の行動等に注意していただき、適切な指導を行っていただきたい。
	交通安全の徹底	
	自覚と責任ある行動の実現	
特別活動	クラブ活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・中学を中心とした部活の地域移行の話合いがされているが、高校においても連携して検討できる活動もあると思われる。 ・生徒会役員は主体的に行事運営に関わっているが、より多くの生徒が行事等への参画意識を持てるよう、活動状況などの情報提供(動画などの配信)をしてみてもどうか。 ・クラブの加入率は、低いようだができる限り加入促進をお願いしたい。部活動が盛んになれば、それを目的に入学したい中学生も増え、学校に活気が出ると思う。特に軽井沢高校にしかない部活(アイスホッケー、スピードスケート、カーリング、)の復活と強化、また一年中利用できるプールの活用で水泳部、町の音楽関係者を交えての歌、楽器の音楽部など外部指導を入れて盛んにすることも考えてはどうか。子どもたちがこの先の人生を豊かにするための部活(アーティスト(絵画、陶芸など)と関わる等)など勉強以外のことに没頭する中に、【自分は何で勝負するか】の手立てになることもあると思う。また、外部指導を入れることで先生が軽快になってしまっても揺らぐことがなく活動できるメリットもある。クラブ活動は指導者にもよる。少人数でも活発な活動である事が重要かと思う。 ・クラブ活動に参加している生徒が減少しているのは大きな問題だと思う。難しいことだが少しでも生徒がクラブ活動に参加できるような取り組みが必要だと思う。アイスホッケー部に関してはクラブの存続も危ういと聞いており、学校だけにお任せするのではなく地域・関係者も交えて考えていく必要がある。
	読書習慣の定着と授業連携	
	生徒会の主体的な運営	
人権平和	生徒の自己肯定感・人権感覚の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・全校の人権学習のテーマを決定し指導しており、問題は無い。もっと世界、社会、政治に目を向ける成人を育ててほしい。(世の中全般)多様性も含めて、多様な情報を吸収してもらいたい。ISAKも含めて何かご協力できればと思う。 ・今年度の講演内容はとても良かった。来年度も引き続き生徒が人間性を向上できるようなテーマの講演を考えていただければと思う。
学校保健	心身の自主的健康管理の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ問題が依然と多いが、順応している。しっかり働ける人【強い人】を家庭でも学校でも育てていく必要があると感じる。引き続き感染対策等に努めていただきたい。 ・コロナも一定の終息がみられ5類に移行されることもあり、来年度から少しずつ元の生活に戻っていくように思うが、引き続き感染対策を実施していただき安全な学校を築いていただきたい。
環境美化	校地内外の環境美化の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・特に下駄箱がきれいになっており、生徒の自主性が見える。校舎は老朽化してきているが、出来る事でより過ごしやすい学校にしていきたい。 ・校長先生また先生方が実際に校地内外の美化に取り組んでいる姿は素晴らしい。「やってみせる」ことで生徒の意識も向上すると思う。
地域との連携	三者でつくる軽高会議の発展	<ul style="list-style-type: none"> ・三者会議はそれなりに有意義な話し合いができていると思う。課題に応じて生徒以外の参加者を臨時招集できるよう、リストアップしておいてもよいか。 ・生徒の貴重な意見が聞ける会議ですので引き続き行っていただきたい。 ・信大・東大の拠点ができること各段に連携が図りやすくなり、教授による模擬授業だけでなく関係する授業のゼミ生を招いて話をする機会なども生徒や教員の刺激になると考える。他校との連携及び町行政の会議にも積極的に参加している。私が勤める保育園で楽しい音楽パフォーマンスを披露してくれて、子どもたちがとても喜んでくれた。 ・素敵なHPも良いPRとなるので是非工夫していただきたい。生徒も協力できるのではないか。
	私たちの住む地域について理解を深める	
	本校の教育活動についての情報の発信	
ビジョン	魅力ある学校の将来ビジョンの構築	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい制度の導入等、学校が一つになり施策に取り組んでいる。単位制の導入や東大や信大との連携等、魅力ある学校に向けて職員が頑張っている成果だと思う。単位制の話をもっと浸透させてほしい。 ・一定の成果が見られているが評価Cもあるので、引き続き向上できるようにお願いしたい。
働き方改革	教員業務の精査	<ul style="list-style-type: none"> ・時間外勤務の改善が弱いようなので、問題点を点検し引き続き改善していただきたい。夜遅くまで灯りがついている学校を見ると、先生方のご苦労が想像できる。 ・「教職員の長時間労働は改善」は難しい問題だと思うが、教職員の皆さんが心身ともに健康でなければ生徒に対して適切な指導は出来ないと思うので、少しでも労働時間の短縮が図れるような対策をお願いしたい。 ・先生たちの元気の源(ご家庭、プライベートなどを)を大切にお仕事してほしいと願う。教員の皆さんの業務バランス、勤務時間の徹底、年休取得は授業や生徒への指導にも影響するので連携を密にしていきたい。
	教職員の長時間労働の改善	